

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

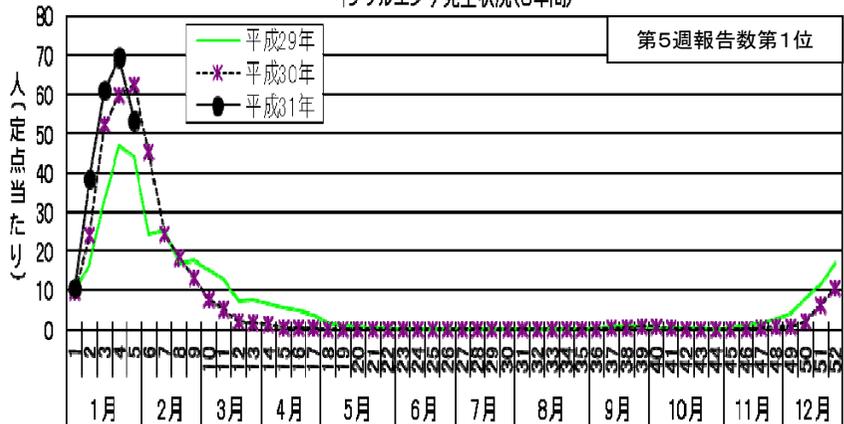
平成31年1月28日（月）～平成31年2月3日（日）〔平成31年第5週〕の感染症発生状況

第5週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は53.39人と前週（69.41人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.14人と前週（6.30人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.27人と前週（2.24人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

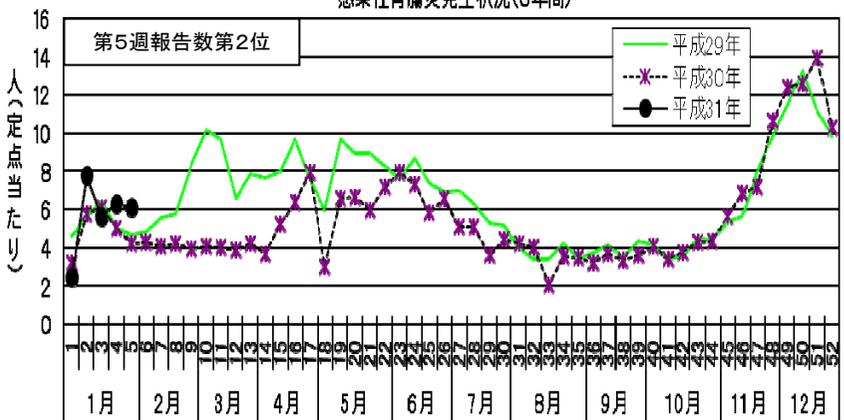
★風しんウイルス★
ルベラくん



インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における風しんの無料抗体検査とワクチン接種費用の助成

昨年の夏以降、全国的に風しんの患者報告数が増加しています。川崎市においても平成30年には110件もの報告があり、平成31年は第5週（1月28日～2月3日）までにすでに10件の報告がありました。

風しんは、妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、白内障、先天性心疾患、難聴などの症状を呈する先天性風しん症候群（CRS）の児が生まれる可能性があります。風しんの流行がない時期にはCRSの報告はありませんでしたが、今年に入って全国で1件の報告がみられています。

本市では、妊婦への感染を防ぐために、30～50歳代の男性にも対象を拡大して無料の抗体検査を実施しています。大きな流行がくる前に、出来るだけ早く抗体検査を行い、抗体価の低い方はワクチン接種を御検討ください。

平成30年度川崎市風しん対策事業について

川崎市では、市内の協力医療機関で無料の抗体検査を平成31年3月31日まで実施しています。

1) 風しん抗体検査

【対象者】

- 本市の事業を利用したことがない川崎市民で、次のいずれかに当てはまる方
 - ・妊娠を希望する女性
 - ・妊娠を希望する女性のパートナー
 - ・妊婦のパートナー
 - ・30～50代の男性
- （昭和34年4月2日～平成元年4月1日生の方まで）

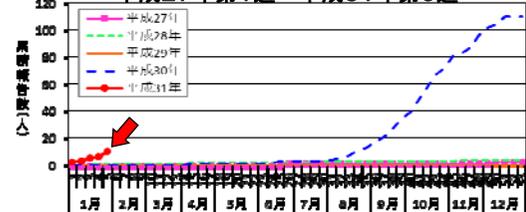
【自己負担額】無料

2) 麻しん風しん混合ワクチン接種

【対象者】風しん抗体検査の結果、抗体価が十分でなかった方
【自己負担額】3,200円



川崎市における風しん累積報告数
-平成27年第1週～平成31年第5週-



風しんワクチン接種の実施状況(生年月日別)

| | 女性 | 男性 |
|------------------------|------------------|--------|
| ～昭和37年4月1日生 | 定期接種なし | |
| 昭和37年4月2日生～昭和54年4月1日生 | 中学生の時に1回集団接種（定期） | 定期接種なし |
| 昭和54年4月2日生～昭和62年10月1日生 | 中学生の時に1回個別接種（定期） | |
| 昭和62年10月2日生～平成2年4月1日生 | 幼児期に1回個別接種（定期） | |
| 平成2年4月2日生～ | 2回個別接種（定期） | |